

新学習指導要領は、明治維新以来の大改革！

2018 年は「明治維新」から 150 年の節目の年に当たる。高知県では、「志国高知 幕末維新博」が開催されている。くしくも新しい学習指導要領は、幕末・明治維新以来の大改革となる。教師にこの認識があるだろうか。学校として「主体的で対話的で深い学び」の備えができているだろうか。

授業の中心核となる「**主体的・対話的で深い学び**」は、**子ども自身が創る「学び」**となる。これまでの教師が主体となる授業とはかなり違う。教師に求められているのは、「教える力」でなく、「授業の中で子供同士のやりとりを活発にする」ことだ。子供たちが主体的に問いを立て解決策を考えるように学びの質を変えることが重要だ。教師一人が 1 年間に千回以上も行う授業の場で授業改革を地道に積み重ねるしかない。

1 まだまだ教師主体の授業が多い

まだまだ教師主導型の授業をしている教師が多い。教師が一方的に教え暗記に偏りがちな授業だ。教師が説明する授業だ。教師が一方的に知識を教えるため、子供は受け身的になりがちになる。子供たちが教師に言われたことをひたすら行う受動的な学びだからだ。経験上、校種が上がるほどそうした授業が多かった。教師主体の授業を一概に否定できないのは、教師が子供に教えなければならない、最後は教師がまとめなければならないという義務感がまだまだあるからだろう。

2 校内研修の課題

教師は、研究授業だけでなく日々の授業に誰しもが事前準備や教材研究を行い臨む。だが、そこに課題が生まれる。綿密に授業準備をした分、「それをこなさないと」という意識から教師主導となる。自ら準備したことをこなそうと必死になる。そのため、教師がしゃべり過ぎるパフォーマンスの多い授業となる。教えたがり、しゃべりたがる授業だ。そうした授業についてこれる子はよいが、結果的に発表が得意な子が中心の授業となる。従来と何も変わらない授業だ。

校内研修での教師主導型の授業の背景には、やはり「教科」がある。その教科をいかに教えるかということを前提に授業を組み立てているので教師主導の授業となる。だが、今回の学習指導要領の「主体的で対話的で深い学び」により教科の壁はなくなった。新学習指導要領が教科横断的に子供たちが主体的な「学び」を行うことを促しているからだ。教師は教科に固執するのではなく、子供たちが教科横断的に学ぶ手立てを考え、子供たちに身につけさせるとよい。教科に特化しがちな校内研究を「対話」や「学び合い」などを研究主題にすると、教師同士がお互いの取り組みを共有しやすくなる。

3 授業準備に手間がかかる

「主体的・対話的で深い学び」を行うこと自体がこれまでとは違うので、教師の負担が多いという誤った受け止め方をする教師がいる。これまで教師一人で自分の教科をいかに教えるかという観点から指示、教材、ワークシートにいく方法が簡単という認識があるからだ。だから、準備に時間がかかっている。

「主体的・対話的で深い学び」は、「子供全員を本気にするにはどうしたらよいか」「子供たちが楽しく話し合いができるためにはどうすればよいか」という子供の学びの本質に常に向いて指導をするので手間もかからない。時間もかからない。そこで、授業を子供たちが能動的に「自分たちで学ぶ力」の育成にウエイトを置く指導に転換する。そのためには、教師が子供の学びから少し手を引くことだ。授業準備にかかる時間も減るだろう。

4 授業の見直し方法

子供たちが学び手であることを考えると、教師は授業で優先すべきことは何かが見えてくる。自分の授業のあり方、指導のあり方を見直し、転換しなければならないことに気付く。教師間の日常の会話の中で授業を語り合う。授業者自身が自ら授業ビデオを編集し、そのビデオから何かを感じ取る。校内のたくさんの授業やビデオを見ると多くの教師の意識が同じものになる。「子供たちが語り合う場面をつくる」「教えたがる、しゃべりたがることを我慢する」ことに気付く。ベーシックやスタンダードなど使いユニバーサルデザイン化を図って欲しい。

5 学習過程と具体的な学習指導（構造図）

学習過程	細分化した学習過程	具体的な学習指導	手立て
			ア グッズの掲示 イ 日付け・縦線 ウ キーワードの掲示 エ 学習リーダー
1 見通し		①前時の振り返り Ⅰ ②問題(資料)の提示 Ⅱ ③問いをもつ・問いの共有（見通し（気づき3視点・解決方法）） Ⅲ ④学習課題の設定	オ 学習課題設定のヒント
		⑤学習課題の3回読み ⑥まとめの書き出し ⑦シラバスの提示 ⑧言語わざの提示 ⑨自力解決可否2回の確認	
2 解決活動	Ⅳ ⑩自力解決		カ 机間指導赤ペン
	Ⅴ ⑪集団解決（ペア学習）	⑫班学習 ⑬学び合い1「単純意見交換・広げる」 ⑭学び合い2「考察・深める」	キ 立場を添え拳手 ク 話す場所4か所 ケ 聞き方（反応） コ 教師は板書に徹底 サ ホワイトボード
		⑮教師の修正	
3 まとめ	Ⅵ ⑯まとめ（価値の共有）	⑰まとめブツブツタイム	
4 振り替り	Ⅶ ⑱振り返り	⑲振り返りブツブツタイム	シ ノートづくり
		⑳ミニ授業反省会	